



適用病害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本 剤 の 使用回数	使用 方法	シロマジンを 含む農薬の 総使用回数
メ ロ ン	トマトハモグリバエ	1000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
ト マ ト	ハモグリバエ類				2回以内		2回以内
ミニトマト					3回以内		3回以内
な ー ず	マメハモグリバエ			収穫 7 日前まで	3回以内		3回以内
セ ル リ ー	ハモグリバエ類				2回以内		2回以内
しゅんぎく チンゲンサイ				収穫前日まで	3回以内		3回以内
とうがん かぼちゃ				収穫 7 日前まで	2回以内		2回以内
食 用 ぎ く				1回	1回		
き く (葉)		1000～2000倍	2回以内	2回以内			
バ ジ ル	2回以内		2回以内				
マッシュルーム	クロバネキノコバエ類	1000倍	1.5ℓ/㎡	覆土後、ただし 収穫14日前まで	1回	覆土表面 散 布	1回
花 き 類・ 観 葉 植 物	マメハモグリバエ		100～300ℓ/10a	発生初期	4回以内	散布	5回以内(土 壌灌注は1回 以内、散布は 4回以内)
	クロバネキノコバエ類		2ℓ/㎡		1回	土壌灌注	





⚠ 効果・薬害等の注意

- カラー及び花はすに使用する場合は、湛水状態で使用しない。また、使用后14日間は入水しない。
- 本剤は主として幼虫に対して効果を示すので、できるだけ発生初期から散布する。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ、所定量の範囲内で調節する。
- 調製した薬液は、調製した当日に使い切る。
- 使用済みの空容器、散布薬液の調製容器、散布器具などは水でよく洗浄し、その洗浄液は当該薬液を処理したほ場内で灌漑水路、排水路、河川、湖沼、井戸などの水系へ流れないように、始末する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、普及指導センター、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…該当なし

保 管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

